

2020.04.01(水)

日刊自動車新聞 電子版

DAILY AUTOMOTIVE NEWS ON LINE

検索

自動車流通

開発・生産

交通

解説・特集

経営

地域版

トップ > 部品・素材 > 「台北国際自動車部品及びアクセサリ見本市」が延期 注目を集める台湾部品企業

スクラップした記事を見る

「台北国際自動車部品及びアクセサリ見本市」が延期 注目を集める台湾部品企業

2020.03.28

ツイート

シェア 0

LINEで送る

紙面で読む

この記事スクラップ



ギャラリーへ

WIESS 洪宏淵会長[Ⓢ]と唐中浩マネージャー

コンピューターやスマートフォンの分野で成長を遂げた台湾企業が次の産業の要と位置づけているのが車載用部品事業だ。自動車産業が100年に一度の変革期を迎える中、台湾の各企業は、自動車の進化に対応するための先行開発を強化している。特にこれから普及が進む電気自動車（EV）は台湾メーカーにとって次世代自動車市場のサプライヤーとなるチャンスと捉えている。こうしたなか、台湾貿易センター（TAITRA）では毎年4月に自動車部品産業の見本市「台北国際自動車部品及びアクセサリ見本市（Taipei

2020.04.01

紙面を読む



購読申込

記事の転載について



ギャラリーへ

アルテック華晶集団 夏汝文 董事長兼執行長



ギャラリーへ

フェイスホン 林飛宏 事業本部長
 ㊦ 楊維絮 事業副本部長㊦



ギャラリーへ

XFE 陳建綸 總經理

を集める後押しを行っている。今年は初空コロナウイルス感染防止のため、10月21日～24日に延期することを発表した。今回は同ショーに出展を予定していた企業をはじめ注目の台湾企業の取り組みを紹介する。

◆WIESS (微馳智電) デジタルコクピット

台湾のスタートアップ企業が自動車市場でのプレゼンスを高めている。その中の一社、WIESS (微馳智電、洪宏淵会長) は2017年に設立し、自動車および家電分野のトータルソリューションプロバイダーとしてさまざまな用途向けのコネクテッドソフトウェアソリューションの開発を目指している。株主には、フォックスコンの子会社であるフォックスコン・インターコネクテッドテクノロジーなどが名を連ねる。

「当社は主にカーエレクトロニクスに関するデザイン力を持ち、車の急速なICT化に対応した革新的な技術を開発する技術者集団」(洪会長)とする。

同社が持つ最先端技術は、デジタルコクピットと呼ぶトータルソリューションは、デジタル機器クラスター、インフォテインメント、リアシートエンターテインメント、ヘッドアップディスプレイ(HUD)システムなどで構成されている。「将来のデジタルコクピットに関する我々のビジョンは、あらゆる運転状況でドライバーニーズを予測する完璧でユーザーフレンドリーな環境の実現であり、インタラクティ

各種購読お申込み

マイページ

ログアウト



特定整備解説(導入編)小冊子

ゼロからわかる 特定整備

～認証取得にむけて～

発行のご案内

ランキング

	直近	昨日	一週間
1		ダイハツ、「タント」やトヨタ「ライズ」を生産する滋賀工場の稼働停止 コロナ影響で部品調達滞る	2020.04.01
2		コロナ感染拡大、国内生産にも徐々に影 サプライチェーンの限界点迫る	2020.03.30

記事の転載について



ギャラリーへ

フクタ 張金鋒 総経理



ギャラリーへ

KSターミナルズ 鄭景壬 総経理

⑤ 萬芝嘉マーケティングディレクター⑥



ギャラリーへ

エヴァーフォーカス 張嘉元 資深經理⑥ 李冠■ (ひとやねに米) 副理⑥

ルイン・フン・トータルソリューション「クレジット」(同)と語る。

今年後半に生産を行う予定の製品の中には、360度のパノラマAVM+、電子ミラー、ワイヤレス充電器、BSD、二輪車用の電子制御ユニット(ECU)が含まれている。特に自動車用のワイヤレス充電器は15Wの急速充電デバイスとなり、Qi認証を受け、iPhoneやサムソンなどの主要ブランドをサポートすることが期待されている。また、自動車用にも使用されるeミラーは、高度な画像とディスプレイエンジン、ハイダイナミックレンジ(HDR)を備えており、さまざまなサイズのLCDフォームと比率に対応する。

現在、同社の従業員のおよそ80パーセントがR&Dに従事しており、そのスタッフは、エレクトロニクス設計と製造において20年以上の経験を持つ。洪会長は「先端技術を提供するだけでなく、自動車メーカーが環境と安全の課題に対応できるように最適なソリューションを提供することでこの産業がいつまでも発展していくことを望んでいる」とする。

◆アルテック華晶集団 カメラモジュール

アルテック華晶集団(夏汝文董事長兼執行長)は、デジタルカメラのODMを中心に事業を拡大してきたが、2005年頃から自動車業界に参入。培ってきたデジカメ技術を活用し、リアカメラやアラウンドビューカメラなどの開発を行っ

各種購読お申込み

マイページ

ログアウト

車も 朝霞では従業員がコロナ感染

2020.03.28



三井住友海上火災保険、府中支社社員から新型コロナ陽性反応

2020.03.31



損保ジャパン、福井支社の従業員から新型コロナ検出

2020.04.01



トヨタ自動車九州、コロナ感染で生産停止した宮田工場第2ラインを再開

2020.03.26



入社式、相次ぎ延期や中止 新車ディーラー・損保・機械工具・AA・用品 猛威を振るう新型コロナ 新入社員研修にも影響

2020.03.31



トヨタ、国内5工場で生産調整 世界的な感染拡大で新車需要が減少

2020.03.25



三菱自、水島製作所で軽自動車の生産停止 「eKワゴン」や日産「ルークス」など コロナ影響で部品調達滞る

2020.03.27



記事の転載について



ギャラリーへ

ライトオン（左から）周哲毅 副
総経理、安志東 総監、廖正堯
総監

変化の中で、これまでの『見渡す』というビューイング機能から『検出する』というセンシング機能の向上にシフト、特にA I と組み合わせたセンシング技術開発に注力している。

運行管理ではA I チップを搭載したカメラモジュールを運行管理会社に納入している。フロントガラス設置式の車内外を管理するA I 内蔵2眼式カメラモジュールとすることで事

故等の緊急時に自動通信を可能としたほか、ドライバーへの警告といったモニタリング機能も持たせることで、保有車両の拡大によりマンパワーでは補えない運行管理体制をカバーする。さらに運行管理の効率化とともに運行会社にとっては事故低減による保険料金の削減にもつながることから、市場ニーズも拡大しているとする。

一方、自動運転の広がりとともに課題となる『運搬のラスト1マイル』を担う自動配送車のカメラモジュールの開発にも参画、北米の一部エリアですでに実証実験が行われている。

カメラモジュール開発における同社の強みは自社開発のA I チップ。その特徴は小型・ローパワーチップ。各社がハイパワーチップを取り扱うなかで、将来のE V化拡大を見据え車載バッテリーに負荷がかからないローパワーチップの存在は大きな武器となるとする。あわせて、5 Gの動向も注視している。5 Gの採用拡大とあわせ、より複雑な制御技術が進む中でB t o B事業が拡大するとみている。

夏董事長兼執行長は「車載ビジネスが拡大するなかでA I を基盤としたカメラモジュールはより重要となる。人を検知する自動空調など車内センシングでの活用に加えてバックミラーやサイドミラーのカメラ化はより高度なセンシング機能が必要だ。ティア1へのアプローチはもちろんカーメーカーに対しても存在感を示していきたい」とする。

各種購読お申込み

マイページ

ログアウト

ど 市場低迷を受けて生産調整

2020.03.28



特集

未来の整備士特集 1面

05:00

未来の整備士特集 4面

05:00

未来の整備士特集 3面

05:00

未来の整備士特集 2面

05:00

千葉県自動車販売特集 1面

2020.03.31

お知らせ

【お詫び】「@njd.jp」宛のメール送受信障害について

2020.03.31

[記事の転載について](#)[各種購読お申込み](#)[マイページ](#)[ログアウト](#)

フェイホン（飛宏科技、林中民董事長）は、電源・充電装置サプライヤーとしておよそ50年の歴史を持つ。電源・充電装置はカメラや携帯電話、電動工具など様々なカテゴリで使用されており、同社ではこれら製品を製造する各国大手メーカーのOEM/ODMを手掛けるなど世界トップ10のサプライヤーだ。台北が本社の同社は、台南にR&Dセンターを設置するほか、中国とベトナムに計4か所の生産拠点と、北米、ヨーロッパ、日本などに営業拠点を構える。各生産拠点では多様化するグローバルニーズに対応するため、ISO9001品質管理システム認証と製品安全規格認証を取得するほか、ISO13485医療器具品質管理システム認証も取得している。

自動車に関しては、世界的なEVの普及に合わせ充電装置などの自動車関連事業の強化を進めている。EV用充電装置ラインアップは、交流・直流ともさまざまなタイプの機器を取りそろえる。またスタンド式直流急速充電装置では60～360キロワットまで最高出力別に装置を用意するほか、充電インターフェイスは各国の基準に対応し、CHAdeMO（チャデモ）基準にも対応。生産工場ではIATF16949：2016自動車業界品質管理システムを取得するなど高品質な製品の供給に努めている。

EV充電装置における同社の強みは、充電装置だけでなく管理システムを含むEV充電ソフトウェアソリューションの提供にある。充電スタンドの位置情報をはじめ、予約管理や充電状況のモニタリング、決済といったユーザー側の利便向上に加え、充電装置自体のモニタリングやソフトウェアのアップデートなど、充電スタンド運営側にとっても利便性が高いシステムだ。

こうしたソフトウェアを含む充電装置ソリューションの展開について、林飛宏事業本部長は「各国の車種とのマッチング確認は非常に重要な作業でありスピード感を持って検証を行

特定整備」刊行

2020.03.23

日刊自動車新聞メールマガジン 開始のお知らせ

2020.02.26

4月13、29日新聞休刊のお知らせ
00:00

PR記事アーカイブ

～日本の技術力を支える～輝く☆ものづくり
(31日更新)

2020.03.31

PR

オートアフターマーケット注目製品特集

2020.03.31

PR

EMC試験特集電子版・KEC関西電子工業振興センター、セミナーやフォーラムで情報発信

2020.03.30

PR

イエローハット 既存資産を生かして新たなチャレンジを

2020.02.24

PR

Manufacturing Japan Summit 2020 製造業関係者が一堂に会する一年に一度のサミット！

2020.01.14

PR

[一覧 >](#)

[記事の転載について](#)[各種購読お申込み](#)[マイページ](#)[ログアウト](#)

る。

◆ X F E（軒帆光電科技） L E Dヘッドライト

X F E（軒帆光電科技、陳建綸総経理）はL E Dヘッドライト開発のスタートアップ企業で、2015年の設立。陳総経理は同社設立以前から大手電子メーカーにおいてL E Dヘッドライトにかかわる研究・開発に従事していた。同社の特徴は、L E Dヘッドライトの光源や配光に関する研究・開発に特化している点。各構成部品や製造に関しては複数のパートナー企業に委託しマーケットに合った製品化を行うというビジネスモデルを展開している。

現在、アフターマーケット向け製品としてハロゲンバルブからL E Dバルブへの代替需要をターゲットに製品開発を進めている。代替における最大のポイントは、各国の規格に準拠した正しい配光の実現であり、同社の強みはまさにこの正しい配光の実現力にある。

現状、一部のL E Dバルブには配光の乱れが大きい製品が見受けられるとする中で、純正採用のハロゲンバルブ以上の正しい配光の実現に対する絶対的な自信が他製品との差別化要件ととらえている。加えて、省電力、小型化も大きなセールスポイントだ。消費電力は一般的な製品の約半分となる12Wを実現。正確な配光により、不要な範囲の照射にかかる消費電力を抑えたことにより可能としたとする。また、ハロゲンバルブとほぼ同等のサイズを実現したほか、コントローラーも小型化し、交換のしやすさも実現している。製品化にあたり、アルミ削り出しボディを採用するなど軽量で高剛性、耐振動性能を追求したほか、車載上不可欠なE M C（電磁環境両立性）測定も実施するなど万全な体制を敷いている。

L E Dヘッドランプモジュールをはじめ、25年を目処に道路状況や天候などに対しセンシング機能を持ち合わせたスマートライティングの製品化を目指すとしている同社。当面は「世界市場の7割はまだハロゲンバルブであり、アフターマーケットでのL E Dバルブへの

[記事の転載について](#)[各種購読お申込み](#)[マイページ](#)[ログアウト](#)

展開しており「自社ソフト展開のみならず OEM供給はこめつめる形じこつなる市場開拓を進めたい」（同）とする。

◆フクタ（富田電機） EV向けモーター

フクタ（富田電機、張金鋒総経理）は、1988年の設立。産業用の汎用モーター、サーボモーターなどを中心に事業を拡大してきた。2005年には、北米の新興EVメーカーへのモーター納入を皮切りに本格的にEV向けモーター事業にも乗り出した。現在ではEVを始め、低床EVバス、電動二輪車などに規模を拡大するなど、EV関連で売り上げの約半数を占めるまでに成長、同社の事業拡大の原動力となっている。現在、台湾国内に3工場を構え、その敷地面積は8万4300平方m、従業員数は約300人を数える。また、取引実績では北米やカナダ、インド、日本など産業用、EV用を合わせ34カ国に上る。

15年を経過したEV事業について、同社ではまだ新しいマーケットと見ており、サプライヤー企業との間でメーカーが求めるスペックや品質について十分な検討・評価・検証が出来ることが重要と捉えている。こうした中で、強みである高い技術力と研究開発（R&D）力、そしてフレキシブルな生産体制と品質管理力を備えた『モーター設計から制御まで一貫生産』を武器に、ニーズを捉えた供給拡大を進めたい考えだ。

同社の持つ技術力で特筆すべきは10年以上の開発、製造経験を持つ鑄造純銅ローターだ。電気伝導性に優れた純銅で製造することにより高効率化を実現するとともに、温度上昇が抑えられることで絶縁システムの長寿命化がもたらされた。また、高効率化によりアルミ製ローターに比べ小型化が図れるとともに全体コストの削減もにもつなげるとする。こうした高い技術力を基盤としたR&Dでは、基本となるコアや巻線といったモーター特性の設計から、ギアボックス、ローター設計、そしてインバーターアプリケーションなどの電子制御までの一貫体制を構築している。

[記事の転載について](#)[各種購読お申込み](#)[マイページ](#)[ログアウト](#)

は「自動車をメーカーがEV生産にシフトするなかで、いかにメーカーの考えに沿った開発・生産ができるかがカギとなる」とし、『高効率・高品質・低価格』をキーワードにさらなる事業拡大を進めたい考えだ。

◆ K Sターミナルズ（健和興端子） EV充電用コネクタ

K Sターミナルズ（健和興端子、鄭景壬総経理）は、1973年に設立。新エネルギー、EV、鉄道輸送、通信ネットワークなど多くの産業分野で使われる端子、コネクタ製品の製造を行う。設立当初は端子のOEM事業からスタート。品質を第一とした誠実な事業への取り組みで、端子とコネクタ市場で実績を築いてきた。2018年には本社隣地にR&Dセンターを設置。一階にあるショールームには、産業分野別にさまざまな端子やコネクタが展示され、設立からの発展の一端をうかがい知ることができる。

生産は台湾にある2カ所の工場のほか、中国、タイ、インドネシア、ベトナムに営業所を設置。鄭総経理は「現在1万5千種以上の製品をグローバルに提供する中で、ISO9001、ISO14001、IATF16949などの国際認証に合格し、各シリーズ製品の異なる品質保証と各国安全規定認証にも合格している」と話す。

「世界の顧客に満足いくサービスを提供するために、私たちは厳格な品質管理はもとより研究開発リソースに投資を続け、革新的な製品とプロセス技術を開発し新エネルギー、EV、鉄道輸送、ネットワーク通信などの産業用途向けに端子とコネクタ製品を積極的に拡大している」（同）という。

自動車用コネクタは小型防水コネクタ、ECUコネクタなど各種製品を取りそろえているが「自動車関連は極めて保守的な業界。ただ、EV分野は新しい分野であり取り組みやすい」とし、欧米そして中国規格の交流式充電コネクタのラインアップを充実。台湾で

[記事の転載について](#)[各種購読お申込み](#)[マイページ](#)[ログアウト](#)

1 / への販売のほか、「インテグラーの表面処理も販売する。

「短期的な利益よりも長期的な安定成長を続けソリューションとモジュール製品で精密コネクタ企業として世界的な企業のパートナーになる」（同）とする。

◆エヴァーフォーカス（慧友電子） 車両監視システム

エヴァーフォーカス（慧友電子）は、カメラおよび録画システム（DVR）を活用したセキュリティ機器の総合メーカーとして、欧米を中心に高いシェアを持つ。車両監視システムでは、これまでトラックやバス用のモバイルDVRの提供の実績がある。今後はこれまでのシステムからさらに進んだ次世代の車両監視・管理システムの構築に注力していく。

運行車両の管理は運送事業者にとって資産保護や機会損失の低減、リスクの低減など多岐にわたる重要な要素を含んでいる。こうした中で同社のシステムはカメラとモバイルDVRを組み合わせたシステムとして運行管理にかかわる問題点解決策を提案する。

車載用に開発されたFHDカメラとモバイルDVRを設置することで、多くの車両情報車両情報管理を可能とした。システムの構築は各運送事業者をはじめ運行管理会社、システムメーカーとの共同開発により、ニーズに合ったシステム構築を可能とする。これまでの実績として、国内外のトラック、バス事業者に採用が進んでいる。

次世代型のAIスマート監視産業用コンピューターは、第7世代のインテル社製プロフェッサを内蔵し、モバイルネットワークビデオレコーダー（NVR）として機能するよう設計されており、4Gリモートモニタリングを介して車両監視を行うことを可能とした。スマート監視システムは車両に設置することで、車両自体や搭載機器の盗難を防止するための監視機能のほか、複数車両のリアルタイムでの監視映像と交通および道路情報を融合することが

[記事の転載について](#)[各種購読お申込み](#)[マイページ](#)[ログアウト](#)

により人物や車両の行動予測も可能としている。また、ソフトノームはインテル社製だけでなくNVIDIA社製にも対応しており、同社内ではそれぞれのプロジェクトチームにより開発を行っている。張嘉元資深經理は「インテル社、NVIDIA社と共同で新たなソリューション作りを進めており、各国のユーザーニーズに合ったシステムを開発していく」と今後の展開を述べる。

◆ライトン（光寶科技） 車載用電子部品

ライトン（光寶科技、宋恭源董事長）は、オプティカルコンポーネント、電源、モジュール・IoT事業、ODM事業をグローバルに展開するなかで車載事業拡大に向けアクセルを踏む。

2019年グループ全体での売上げは1780億台湾ドル。全世界に334カ所の製造、物流、営業拠点を持つ。

同社の車載用エレクトロニクス応用事業（AEA）は1979年に始まり、以来、この分野に向けた多彩な製品を開発してきた。昨年7月には、AEA事業を自動車用灯具ソリューション、車載ビジョンソリューション、車載制御アプリケーションの3部門に集約しグローバル需要に対応している。

車載ソリューションの提供に特化する同社は、ティア1との取引に重点を置くとともに、CASE分野のトレンドに対応。「コネクテッドでは、テレマティクスボックスと故障診断システム（OBD） Dongleを提供。C-V2XおよびDSRCソリューションを開発中」と車輛制御興応用事業處の安志東總監は述べる。ADASと自動運転分野については最先端のヘッドアップディスプレイ（HUD）、車両用灯具、カメラ、レーダーがあり「LiDARを製品化するスタートアップの受託生産も開始予定」（同）とする。シェア&サービスで

[記事の転載について](#)[各種購読お申込み](#)[マイページ](#)[ログアウト](#)

とDPRも提供しているほか、モーターコントロール、車載マイコン、EVマイコンなども揃えている。また、レーダーやセンサーとともに同社が開発に注力する製品が高精度車外カメラおよび車室内カメラ。車載カメラ市場においては今後500～800万画素まで上がる事も想定している。

ライオンは18年以上にわたり車両用灯具ビジネスに携わっている。PCBA基板上にLEDを正確に搭載する技術は同社の強みの一つだ。

ライオングループは、約3300人のエンジニアが研究・開発に携わり売り上げのおよそ3%がR&Dに費やされている。「AEAに関しては更に高いパーセンテージをR&Dに割り当て、ティア1の要求に合わせて個々の製品ラインを拡充することが可能になっている」(同)とする。

[ツイート](#)[シェア0](#)[LINEで送る](#)[紙面で読む](#)[この記事をストック](#)[スクラップした記事を見る](#)

関連記事



コロナ感染拡大で台湾の部品見本市など延期

2020.03.25



〈企画解説〉台湾で部品・アクセサリ見本市 CASE着目、開発・販売に注力

2019.05.15

[記事の転載について](#)

05:00

[各種購読お申込み](#)

[マイページ](#)

[ログアウト](#)



る エントリー数激減

05:00

[一覧 >](#)

関連ジャンル一覧

部品・素材

おすすめ記事

日産 追浜、栃木、九州の3工場
で生産停止 ノートやセレナな
ど 市場低迷受けて生産調整

2020.03.28

〈名車CM〉スズキ／ワゴンR
(1998年)

2020.03.28

〈霧灯〉トラックドライバーの
言い分

2020.03.28

トヨタ東日本岩手工場、ヤリ
ス ラインオフ

2020.03.28

[記事の転載について](#)

自動車メーカー
 自動車整備
 カー用品・補修部品
 モビリティ
 中古車流通
 リサイクル

開発・生産

自動車メーカー
 部品・素材
 ものづくり・新技術・大学

交通

行政・政治
 交通・物流
 モビリティ

企画・解説
 連載・インタビュー・映像
 特集

経営

統計・人事異動・組織改正
 記者会見

地域版

地域総合
 北海道
 東北
 首都圏
 中部圏
 近畿圏
 中・四国
 九州

[各種購読お申込み](#)

お気に入り記事 (スクラップ)

購読申し込み (新聞・電子版)

新聞購読のご案内
 電子版のご案内 (個人・法人・お試し)

モビナビ

マイページ

社長あいさつ
 事業紹介
 行動計画
 採用情報
 広告掲載のご案内
 著作権・記事転載案内
 プライバシーポリシー・特定商取引法に基づく表示
 業界リンク
 お問い合わせ

ログアウト

検索

[マイページ](#)

[ログアウト](#)

Copyright © Nikkan Jidosha Shimbun All Rights Reserved.